

いせまめ通信

発行：中日新聞
 伊勢市南郷店
 高須新聞店①
 伊勢市南郷町乙422-1
 ☎ 0596-24-1720
 fax0596-24-1728
 毎月25日頃発行
 第5号
 平成24年11月25日

たーくんの「いせ豆知識」

第5話 古いお宮の行方は？

ねえ、すーちゃん。式年遷宮は、一〇年に一度お宮を建て替えるんでよ？古いお宮はどうなるの？捨てちゃうの？もったいないよね。

ええ、すーちゃん。古いお宮は、二〇年に一度お宮を建て替えるんでよ？古いお宮は、二〇年に一度お宮を建て替えるんでよ？

第二鳥居にも神がまわっています！

古いご正殿の柱が通ってきている所を

第二鳥居の参道

宇治橋の大きな鳥居よ！

ええええっ！宇治橋の鳥居は元・正殿なのっ？

そうなの！外宮・内宮の旧ご正殿の一番大きな柱、棟持柱はそれぞれ宇治橋の内側・外側の鳥居に生まれ変わるのよ。

知らなかったあ！

これか！棟持柱です！

正殿でまえる大きな柱が

そして、二〇年後、錦鹿の「関の追分」と桑名の「七里の渡し」の鳥居としてまた二〇年、役目を果たすの。

合計60年!!!

棟持柱だけじゃないのよ、式年遷宮でのご用材は大量だけど全国の神社などで活用されていくのよ。

もちろんだ、棟持柱だけじゃないのよ、式年遷宮でのご用材は大量だけど全国の神社などで活用されていくのよ。

すごい！まさにリサイクルだね！

関の追分七里の渡し 20年

宇治橋の鳥居 20年

～資源を活用していく遷宮～

遷宮で必要なヒノキはなんと一万本余り、大量のご用材が伐採されます。ご用材は、たくさんの奉仕者によって伊勢まで運ばれ、新しいお宮に生まれ変わります。そして、伐採された後には苗木が植えられ、大切に育てられます。

一方、遷宮後の古材は、地震や自然災害などで被害を受けた全国の神社に寄付されたり、移築されたりして活用されます。

前回の第61回式年遷宮後の古材は、全国169社の神社に譲り渡されたそうです。



いせまめプレゼントクイズ!

Q、伊勢の神宮に「ないもの」は？

①お守り ②おみくじ ③鳥居

住所・氏名・電話番号・クイズの答えを書いて、ハガキ・Faxなどで応募ください。正解者の中から抽選でプレゼント!

●使い切りマスク5枚入り……5名様
 ●ドラゴンズドリーム……5名様

現在、このクイズの応募はしめきらせていただいています。

いせまめ通信の感想やご意見などがあればお書き下さい。

住所 _____

名前 _____

秋の紅葉スポット!!

内宮の神楽殿の右側にある別宮、「風日祈宮」の紅葉がおススメです!宇治橋をギュッと小さくしたような風日祈宮橋と紅葉がとってもステキ。ぜひ一度行ってみてね!

こんにちは 高須新聞店で

いつもご愛読ありがとうございます

今年もあと1ヶ月余り。いよいよ冬本番、皆様いかがお過ごしでしょうか?

今回は、ある読者からの質問にお答えさせていただきました。遷宮の後の古材はいろんな所で活躍しているそうです。

20年に一度の大きなおまつりですが、いろんな角度から見ると、昔の人々の気持ちやまごころをうかがい知ることができますね。

伊勢の神宮の歴史は、伊勢の魅力のひとつ。(*_*) これからも皆さんと少しずつ知識を深めていきたいと思ひます。

次号は12月24日(月)発行予定。おたのしみに